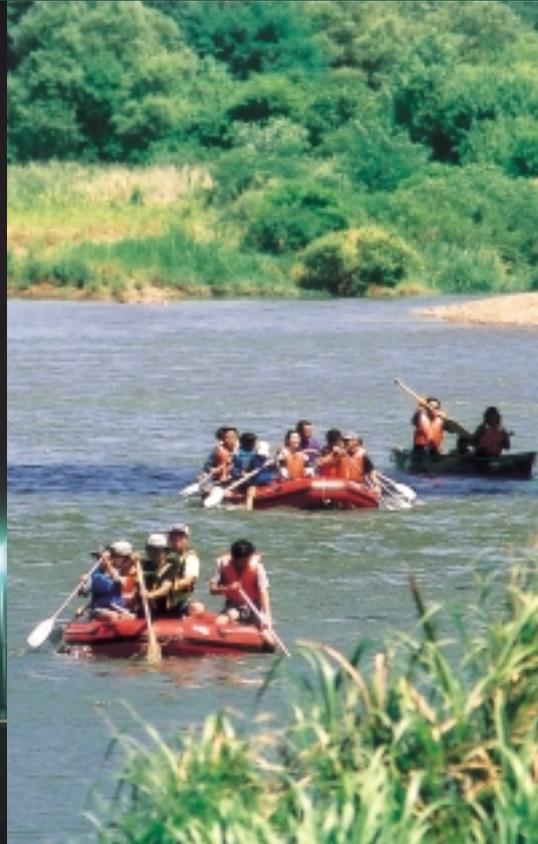


しわネット

2004
9月

ポータルサイト <http://www.town.shiwa.iwate.jp/>

No.655 発行*岩手県 紫波町



特集 川から生まれた もう一つのまちづくり

8ページ
消費者金融の借金
一日も早く相談を



2ページ
紫波フルーツパーク開園
& フルーツの里まつり

7ページ 上手に! 元気に!
介護保険

10ページ 第4回
かとうじ物語



9/23

町の特産や農産物をたっぷりと 紫波フルーツの里まつり 2004



地区名	フルーツの里まつり	会場
日 詰	紫波中央駅待合い施設	
古 館	古館「グリーンハウス」 もちの里「小昼ハウス」	
水分	ラ・フランス温泉館駐車場	
志和	志和握里センター「もっす」	
彦 部	産直センター大巻	
佐比内	峠の駅（紫波ふる里センター、 ふる里レストランぶどうの樹）	
赤 沢	紫波フルーツパーク （産直センターあかさわ、 レストラン「果里ん亭」）	
長 岡	ルート 396 長岡	

恒例の「紫波フルーツの里まつり」が町内
八カ所で開催されます。

今年も、果物、野菜、花などの農産物の販売
や、特産物の試食、ゲーム、もちつきほか、盛
りだくさんの催し物を用意して皆さんの来場
をお待ちしております。

さわやかな秋の一日をフルーツの里まつり
でお楽しみください。

スタンプラリー大抽選会

ラ・フランス温泉館湯楽々宿
泊券や紫波フルーツパーク体験
工房ペア無料利用券、町特産品
セットなどの賞品が当たるスタ
ンプラリーです。九月四日から
各産直などに用意しているフ
ルーツの里まつりのチラシに、
3会場分のスタンプを集め、当
日各会場で抽選を行います。ス
タンプは産直のほかに、紫波中

央駅内待合い施設紫あ波せ本舗

佐比内のレストランぶどうの樹

赤沢のレストラン果里ん亭、古

館のもちの里小昼ハウスで五百

円以上の買い物で一個押すこと

ができます。

日時 九月二十三日（秋分の

日）、午前九時～午後四時

問合せ 農林課 ☎672-212

1 1 1 内線3322 有線01

8931

9/19・
20

紫波フルーツパーク “フルーツの森 生誕祭” 開園記念

これまで整備や植栽が進められてきた紫波フルー
ツパークが8月の体験工房に続き、グランドオーブ
ンを迎えます。

記念イベントは「フルーツの森 生誕祭」と名付
け、特産品の販売、バーベキューをはじめ、ショー
やコンサートも予定しています。広々とした園内を
散策しながら、おいしいものを楽しみませんか。

日時 9月19日（日）、20日（敬老の日）
午前10時～午後3時

場所 紫波フルーツパーク（産直あかさわの
西側）

問合せ 農林課 ☎672-2111 内線3322 有
線01-8931

町長メッセージ

アテネ五輪、そして敬老の月

アテネオリンピックは、日本選手の連日の活躍により
メダル獲得数が過去最高となり、目が離せない毎日とし
た。

長嶋監督と親交の深い野崎洋光氏（東京南麻布にある
「分とく山」の総料理長で料理研究家）が、長嶋ジャバ
ンチームの食事全般を任されたことは、既にご存じの方
も多いかと思えます。

同氏は、当町の地産地消メイトに関わっていただいでい
る関係で、紫波町産の「もち米」を使って、選手の手を最
大限に発揮してもらいたいとのことでしたので、即座に贈
呈を申し出ました。これは、生産者に自信と誇りを持つ
て生産に励んでいただけると同時に、当町の特産品の宣
伝には絶好の機会となりました。結果は皆様ご承知のと
おり、「銅メダル」を獲得することができました。期間中
は、地元ギリシャ産の「うるち米」に当町産の「ヒメノモ
チ」を混ぜた「ご飯」で力をつけ、最後には当町産米の
「赤飯」と「鯛めし」で祝杯を挙げることで、食事は
金メダル以上だったようです。チーム全員の体重が増加
したとの報告とともに、町民の皆様にもよろしくお伝え
くださいとのことでした。惜しくも金メダルは逸したもの
の、生産者の皆さんが丹精こめて栽培した特産米を提供
できたことを誇りとしていただきたいと思います。

九月は敬老の月であり、恒例により「米寿」を迎えら
れた方々のお宅を訪問させていただきましたが、年々元
気な方々が多くなっていることを実感しています。その原
因を探ってみると、自分のやるべきことを意識している、
人生の楽しみ方を持っている、学習の場を持っていると
いったことが、どうやら共通した元気の源であるようであ
ります。

現役当時の自分史や地域活動についての状況報告をい
ただき、交わす言葉に感激することの多い一日であった
と同時に、高齢社会における福祉に何が必要かを考える良
い機会となりました。

（藤原 孝）

川から 生まれた もう一つのまちづくり

北上川を軸とした交流連携を目的に
「北上川歴史回廊」構想が平成7年に策定されています。

その歴史回廊をネットワークする拠点として
位置づけられているのが水辺プラザです。

花巻のイギリス海岸や北上の展勝地など
県内8カ所が、親水、自然学習、休息、交流、
そして地域の情報発信などを目的に整備されています。

紫波地区の水辺プラザは、風土、文化、環境など
多方面から個性を生かした川作りを
考える人たちでつくられた「川を知る会（中野英明会長）の
積極的な働きかけによって実現しました。

町の中心市街地整備計画と一体となって、

紫波橋周辺にスポーツやイベントに
利用できるオープンスペース、簡易船着場、
散策路や休息スペースなどが整備されました。

今回は、水辺プラザを中心に川にまつわる話題を紹介します。



特集
北上川・水辺プラザと
それを取り巻く人々

北上川が町のにぎわいの場の一つとなるように... 小繰舟おくりぶねが帆をはらんで夢を運んでくる



北上川は、岩手町の「弓張の泉」を源流に、県をまたぎ宮城県まで流れていきます。その長さは国内五番目の全長二四九キロで、太平洋に注ぎ込むまで三百一もの支流を集める大河です。江戸時代には、盛岡藩二十万石の蔵米や交易物資輸送のための航路としても利用されました。これは地形が複雑な陸路を運ぶよりも舟運の利用が効率的だったためで、江戸中期には舟運日本一とも言われるほど、その繁栄が全国に知られていました。

荷は川の水深の関係で、盛岡から北上の黒沢尻までを百俵積みの「小繰舟」、その先石巻までを三百五十俵積「ひらた舟」そこからさらに大きな「千石船」で江戸に運ばれました。町を通過していたのは「小繰舟」で、郡山河岸（桜町下川原）からも南部杜氏の始祖、村井権兵衛が江戸まで酒を運んだことも歴史として残っています。

盛岡から黒沢尻までの約五二キロを、行き（川下り）は半日、帰りは四日以上かかりました。帰りは南風が吹いた時にだけ帆を上げ、風が無いと川沿いの船方道を歩いて綱で舟を引いてもよさくるといって大仕事でした。

川を知る会では、「この小繰舟」を復元する計画を進めています。その舟に地域の特産物や地酒を積んで、江戸時代のように黒沢尻河岸で待つ「ひらた舟」まで運ぶ予定です。そして町の観光や子どもたちの歴史の学習にも積極的に利用して、まちづくり、人づくり役に立たいと考えています。川を知る会は、この夏も所有しているゴムボートを使って、学校をはじめ多くの人に川下り体験の場を提供していきます。

大雨の際には氾濫を起し、生活に被害を及ぼすこともある川ですが、先人たちは川の恩恵に浴し、「この川を使って文化を築いてきました。治水の役割だけでなく、河川を私たちの心も潤してくれる空間として親しんでいきましょう。」

小繰舟復元で広がるロマン

川を知る会事務局 古館雅晴さん(中島)

「川を知る会」は、北上川を愛する有志が集まり結成してから今年で四年目を迎えます。町にうるおいと安らぎ、にぎわいをもたらす水辺プラザを整備したいと、会の発足と同時に「水辺プラザを考えるシンポジウム」を開き、その設置に力を注いできた結果、完成の運びとなりました。

江戸時代、北上川は「東国一舟運の盛んな川」と言われ、流域に多くの恩恵をもたらした母なる大河です。近年、北上川流域の北上市では市民運動で「平成のヒラタ舟」を復元しています。川を知る会「でもふるさとづくりを考え、北上川を見直していきたい」との思いから、かつて盛岡から黒沢尻を運航していた「小繰舟」の復元、建造に取り組むことになりました。完成の暁には、和船の伝承や先人たちの功績を、子どもたちの体験学習や、川流域の市町村との交流など、さまざまな活動を通して次世代へ継承できればと思っています。

紫波から川だけを通って、海に出ることなく江戸川に入り、東京ディズランドに行くことだて可能です。舟を利用して色々な夢を皆さんと一緒に大きく膨らませたいと思っています。

「小繰舟」の建造には五百万円ほどの費用がかかりますが、会としては町の財産にしたいと考えていますので、私たちの舟として、より多くの人に関わっていただきたいと思っています。舟復元のための募金呼びかけをしていますので、「協力をお願いします」。

川を知る会事務局 盛岡南ショッピングセンターナックス
内 672 1810



プチ・ラフティングをしてみませんか

くらしのみち社会実験の中で、ボートに試乗することが出来ます。水辺プラザを川面から見てみましょう。運が良ければ、ふるさとに帰ってきたサケをボートの上から出迎えることができるかもしれません。

日時 九月十二日(日)、午前九時三十分(紫波橋下で受付。乗船地点までバスで移動。乗船時間十五分程)。午前中二回、午後一回 定員各二十四人

参加費 百円。水がかかってもよい服装、履物(ヒールの高いものは不可)

問合せ 商工観光室

672 2111



水辺プラザエリア図

環境探検隊も川を体感 触れてみよう 入ってみよう 北上川



八月二十一日、台風あとの晴天、絶好の川下り日和に六組の親子と大学生など二十七人が河川グランドに集合し、バスで川下りの出発地点矢巾町徳田橋上流へ向かいました。みらい研究所主催の第九回環境探検隊です。参加者のほとんどが川下り初体験で期待と不安の複雑な思い。

出発地点では、指導してくれる「川を知る会」のメンバー八人が待っていました。ライフジャケットを着ける時点から、指導者の大きな声に子どもたちは少し驚いた様子でした。台風後でかなり増水した北上川は、水量こそ川下りには良くても、どこに危険が潜んでいるかはわかりません。川下りのプロはしっかりと参加者の気持ちを引き締めてくれました。

ボートに空気を入れ、川まで力をあわせて運び、八人乗り四艇のゴムボートと二艇のカヌーに分乗し、いよいよ出発です。太陽がさんさんと注いでいるわりには、川面を吹く風は心地よく、さほど暑さを感じません。まもなく天然のウオーターズライダーポイントがあり、ボートを降りて、ひとりずつ川に流される体験をしました。ライフジャケットをつけているので仰向けになると顔は沈むことはないものの、初めての人はやはり少し恐

いです。でも子どもたちはすぐに慣れ、順番に楽しんでいました。

のんびりと二時間ほどかけ、長岡の土橋渡し跡まで来たところで休憩です。水量が少なければ水遊びができたのですが、大人でも足が届かないほどになっており、この日はここで、ボートが転覆した時の戻し方を見せてもらいました。

また、紫波橋目指してボートは出発しました。二中付近には、積み石が残っており、ここが渡し場だったことがはっきりわかりました。水辺プラザとして新しく整備された舟着場に無事到着したのは昼過ぎでした。ボートを上げた後は救助訓練をしました。川に流されておぼれている人がけて救助ロープを投げるのですが、なかなかうまくいきませんでした。川面から河岸を見て、川に触れて、川に入って、そして残念なことに上流から運ばれてきたのかゴミが目につく場所もいくつかありました。

そんな場面も含めて環境探検隊では環境について多くの人に考えてもらう機会をこれから提供していきます。



河川愛護で感謝状 滝名川美化で阿部喜六さん

平成五年から滝名川河川敷と堤防の草刈を続けている上平沢の阿部喜六さん九十六歳が、知事から感謝状を贈呈されました。近年では地域ぐるみでの草刈作業などの声かけをし、河川環境の美化保全と河川愛護思想の普及に大きな役割を果たしています。高齢ながらお元気で、年に二百日以上は外での作業に汗を流しています。



上手に! 元気に! 介護保険

~ 体験談紹介 ~



担当 介護保険室 ☎672-4522



今回は志和の畠山ウメノさん(八十七歳)を紹介します。

畠山さんは平成十一年に病気のために寝たきりになり要介護5の認定を受けましたが、その後徐々に回復し、今では家の中を伝って歩くまでに回復しました。

前向きな姿勢と家族の優しさで回復

八月下旬、畠山さん宅にお邪魔すると、玄関で豆むき作業をしている元気なウメノさんがにこやかに迎えてくれました。その横では、介護にあちているお嫁さんの良子さんが優しく見守っています。

元気になられた秘けつをお聞きすると、ウメノさんは、温泉さ連れてってもらったり、皆と話をしておかげさんで元気になりました。家の中さばりいたちつまらないものと元気に答えてくれました。

また良子さんは、本人の気力と周りの皆さんの支えで元気になり助かっています。倒れて入院したころに、ちよつど介護保険が始まりサービスを受けられて感謝しています」と介護保険の有用性を実感しているようでした。

*

自分の事は自分ですするという強い意思と外に出てみんなと触れ合う積極的な生き方が素晴らしいですね。

ケア・マネジャーから

在宅において、その方に適切なサービスが提供できるように調整するのはケアマネジャーの役割です。当初からかわりを持つている社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所の藤尾美津江さんから一言

平成十二年一月病院を退院直後は、呼びかけにほとんど反応がなかったのですが、家族の皆さんが温かい介護をされた事と、日に三回ホームヘルプサービスを利用していているうち表情が始め、身体も動くようになりました。今では週二回のデイサービスと時々ショートステイ(短期入所)を利用しています。

【介護保険ワンポイント】

ショートステイ(短期入所) …

介護保険施設に短期間入所して、食事・入浴などの介護や機能訓練を受けることです。



消費者金融の借金 一日も早く相談を



「悪質商法に
ひっかかり支払のため
借金をしてしまった」

「借金の返済のために
借金をしてしまった」

「不景気で
住宅ローンの返済が
思うようにいかない」

「他人の保証人になって
借金を背負ってしまった」



	相談件数		新規貸付件数		合計貸付件数	
	岩手県	紫波町	岩手県	紫波町	岩手県	紫波町
平成 14 年 3 月末	3414	109	566	21	1624	55
平成 15 年 3 月末	4529	152	640	19	1946	65
平成 16 年 3 月末	4695	126	682	18	2312	68

消費者救済資金貸付制度運用状況

消費者金融などから借り入れをし、多重債務に陥り、返済に苦勞している人や自己破産の申し立てをする人が、都市、地方にかかわらず増加しています。

消費者金融側がここ最近、主婦やアルバイト、無職、年金生活者といった本来融資の対象にならない人までも、電話やはがきにより勧誘していることから、所得の少ない人、年金生活者の相談が増えています。

町では、岩手県消費者信用生活協同組合（信用生協）に預託し三億五千万円の枠により、消費者債務の整理、消費者被害の救済および消費者訴訟の提起に要する資金を必要としている人を対象にスイッチローンという貸付制度を設けています。

スイッチローンは、生活再建を目的とした救済システムであり、信用生協の相談員だけではなく、弁護士、税理士、司法書士などの専門家に相談し解決の方針を明確にする方法です。

スイッチローン

融資限度額五百万円、返済期間最長十年、連帯保証人および担保については

ご相談の際に確認してください

信用生協では、このほかにも各種ローンがあります。

相談やカウンセリング、弁護士の事前相談などを通して問題解決と生活の経済的再建を図ることを最優先としています。ひとりでは悩まず、どんな些細なことでも遠慮なく相談してください。



**多重債務
無料
相談会**



町では、信用生協の相談員による『多重債務に係る相談会』を開催します。

日時 九月二十二日（水）、午後二時～七時

事前に商工観光室 ☎ 672 6872 にご連絡いただきますと、時間を調整します

場所 総合福祉センター 一階団体室
持参するもの

契約内容がわかるもの

（契約書、申込書、支払明細書など）

支払い状況がわかるもの

（領収書、振込みの控えなど）

借入先の残高一覧表

（現在残高を調べて一覧表にする）

問合せ・相談先 県消費者信用生活協同

組合 ☎ 653 0001

県消費者信用生活協同組合（盛岡市南大通一丁目八 七）では個別の相談も受け付けています。相談時間は平日午前九時～午後八時、土曜は午前九時～午後五時



弁護士 無料 法律相談



岩手弁護士会は「法の日」を記念して、無料法律相談所を開設します。

弁護士は、基本的人権の擁護・社会正義の実現を使命として、当事者や官公署の囑託を受けて訴訟や法律事務を行う人です。

当日は、岩手弁護士会所属の弁護士が、日常のさまざまなトラブルについて、法律的にアドバイスします。相談は会場であらかじめ受け付けます。予約の必要はありません。

日時 十月一日(金)、午前十時～午後三時三十分

場所 岩手県民会館 四階 第一・第二会議室(盛岡市内丸一三二)

相談内容

民事関係 金銭貸借、土地の所有権、家賃、交通事故の損害賠償、雇用関係など。

家事 夫婦関係、親子関係、遺産相続など。

問合せ 岩手弁護士会 ☎651 5095




司法書士 無料 法律相談



岩手県司法書士会は「法の日」を記念して、全国一斉司法書士無料法律相談会を開設します。

司法書士は、登記全般に関する業務や、裁判所・検察庁への書類の作成など、法律上のさまざまな書類を作成したり助言したりします。そのため、「まちの法律家」として、もっとも国民に身近で親しまれる存在です。

直接来場していただいている相談のほか、電話での相談「登記一〇番」(☎652 9350)も受け付けます。

日時 十月一日(金)、午前十時～午後三時

場所 紫波町中央公民館(このほかマイカル盛岡南サテイ、花巻市生涯学習学園都市会館など県内各地で実施)

相談内容

民法関係 土地売買、金銭貸借、抵当権(根)、親族(結婚、離婚、親子)、相続など。

商法関係 会社設立、増資や組織変更手続きなど。

訴訟関係 土地の境界問題、借地・借家のトラブル、自動車事故、金銭回収、少額訴訟手続など。

問合せ 岩手県司法書士会 ☎622 3372



公証無料 相談会



公証制度とは、法務大臣の任命した公証人が、全国の公証役場で、公正証書の作成など国の公証に関する事務を取り扱う制度をいいます。公正証書があれば、裁判を起こさなくても、直ちに強制執行ができたり、遺言公正証書を作成しておくことにより親族間の相続を巡る争いが避けられたりと、紛争の予防と権利の迅速な実現のために大変重要な役割を担っています。

このような公証制度について、多くの人々に知っていただき、活用していただくために年一回実施するのが「公証週間」の無料相談会です。直接来場していただいている相談のほか、電話での相談も受け付けます。

日時 十月一日(金)～七日(木)、午前九時～午後四時

場所 盛岡公証人役場(盛岡市大通三丁目二八)ほか各地の公証人役場

相談内容 遺言、金銭や土地・建物の賃借、協議離婚に伴う養育料・慰謝料の支払い、財産分与、任意後見など各種契約についての公正証書作成に関する相談。

問合せ・相談先 盛岡公証人役場 ☎651 5828

10月1日は「法の日」

10月1日～7日は「法の日週間」「公証週間」です





宮澤賢治の友人 かとうじ物語

連載 第4回 どっこ舎 内城弘隆 作

宮澤賢治とのかかわりも深い嘉藤治の生い立ちから業績を、連載「かとうじ物語」として日話の内城弘隆さんに寄稿していただきます。

音楽普及に燃えた嘉藤治

大正五年春、藤原嘉藤治は初任地
広田小学校へ赴任しました。青い海

原、人里を抱く湾の松原、砂浜に働く親子の姿…。盛岡とは全く違う漁村の風景に嘉藤治の心は奮い立ちました。

「…神我にあり、である。世界創造の神を信じて生きることが吾人の最大の幸福である」。着任して間もなく岩手民報の紙上に連載された「心の糧記」に彼はそんなことを書いています。自然を神として崇める心は、後に宮沢賢治から仏教への勧めがあっても変わることなく、すべての活動の奥深くに貫かれている嘉藤治の精神です。

岩手の教育雑誌に「唱歌研究」を書き始めた大正六年六月、嘉藤治の魂を揺り動かすニュースが伝わってきました。太田カルテット結成の報です。嘉藤治が学生のころ、盛岡弦楽研究会の中心メンバーとしてヴァイオリンを弾いていた梅村保が、盛岡市の郊外太田村に移り、地元の豪農館沢繁次郎、同じく佐々木休次郎、盛岡の赤沢長五郎と組んで、弦楽台奏の会を作ったのです。

太田カルテットはアマチュアの合奏団ですが、東京からプロの榊原トリオを呼んで指導を受け、たびたび演奏会を開くなど岩手の音楽発展に大きく貢献しました。

嘉藤治が盛岡の仙北小学校に転任した大正七年といえは原敬が首相となり、大正デモクラシーと自由主義の波が地方にも及び、また芸術運動にも新たな波が起こって、東京では



盛岡音楽普及会のメンバー。前列右から二人目が嘉藤治

藤治はピアノ独奏をしています。

大正九年には、城南小学校に移り、美術教師の菊池武雄と出会います。その縁で、菊池は後に宮沢賢治の童話「注文の多い料理店」の挿絵を描くことになりました。また嘉藤治の提言で、県内はじめての海浜学校を行い、宮城県渡波海岸から十日間に及ぶ集団生活のようを「城南校海浜団通信」と題して四回にわたり岩手毎日新聞に書き送っています。

城南小学校は、県公会堂ができるまで、盛岡の音楽の中心舞台でありました。そこで、嘉藤治はますます音楽の普及と教育に熱を入れました。弦楽演奏にも魅力を感じ、太田カルテットのメンバーでもあり、県内の音楽普及に力を尽くしていた原彬からヴァイオリンとチェロの奏法を習いました。中古で穴のあいたチェロを夜を徹して弾く嘉藤治の姿は、後に賢治童話「セロ弾きのゴーシュ」のモデルとされました。

大正十年十月、県の学務課に勤める原彬が嘉藤治の才能と熱意を岩手の音楽発展に活かそうと考え、嘉藤治を花巻高等女学校へ抜擢しました。努力は新たな出会いを呼び、人間の運命を変えていくようです。

童謡誌「赤い鳥」が創刊されています。そんな空気のなかで、嘉藤治は新藤武や岩手師範学校の先生で、後の作曲家下総皖一らと共に盛岡音楽普及会を結成し、第一回の演奏会を城南小学校で行いました。この時嘉



2004
**まちの
 わだい**



公募で選ばれたテーマを考えた
 半田浩美さん(星山)と熊谷行夫さん(赤石)

町内のスーパー、コンビニ、飲食店など46店舗の協力により、夏まつりの募金箱を設置したところ、募金総額は144,034円になりました。

設置場所ごとの募金箱の重さベスト3

- 1 ローソン高水寺 5.55kg(17,106円)
- 2 サンクス志和八幡 3.05kg(7,986円)
- 3 ローソン遠山 2.6kg(6,784円)

金額別ベスト3

- 1 ローソン高水寺 17,106円
- 2 スナック澤 14,600円
- 3 逢YA(あいや) 9,943円

なお町内外事業所、個人の協賛金は総額4,627,600円でした。
 ご協力ありがとうございました。

「夢さんさん」光と鼓動、紫波の大地にこだまして「」をテーマに、夏まつりが開催されました。昨年からの公募によるスタッフを中心とした形でまつりを運営していますが、今年は三十五人のスタッフが集まり、うち高校生が十人でした。事前の準備から当日の運営まで、いたるところで大活躍していました。

自由ステージの途中にどしゃぶりど雷にみまわれましたが、雨上がり後も祭りを続行し花火打ち上げの時間には野球場をうめつくすほどの人出となりました。



自転車競技の東北総合体育大会
ロード競技が彦部から佐比内にか
けての周回コースで開催されまし
た。スタート前はうす曇りで、八月
にしては涼しい気温ではありまし
たが、ロードレースは過酷な競技
です。成年男子は一〇〇キロを超
す距離を三時間ほどで走行します。
ペースに配慮しながら汗たくで疾
走していました。県勢の成績は成
年の部で二位、女子の部で三位に
入賞するなど健闘してくれました。

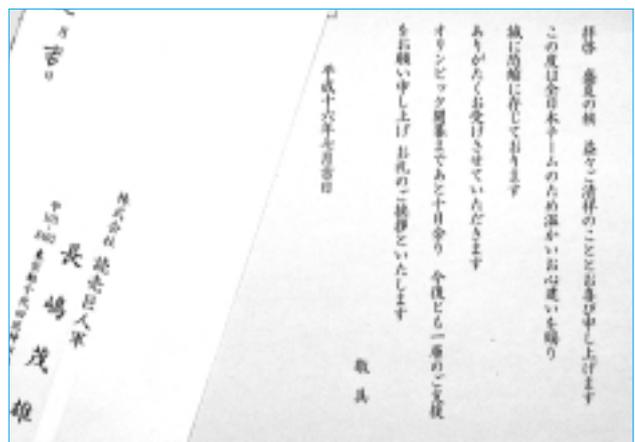
長島ジャンルの 赤飯は紫波町産のもち米で

100 キロモの道のりを 走破したアスリートたち

8 / 29

アテネ五輪野球日本代表チームは、すばらしい活躍を見せ銅メダルを獲得しました。チームの食材として野崎洋光さん（日本料理分とく山総料理長）を通じて、エールをこめた町のもち米一〇〇キログラム（ヒメノモチ）を贈ったことはしわネット八月号でもお知らせしましたが、その直後に長嶋監督からお礼のお手紙をいただきました。

銅メダルをかけた試合の直前、アテネの野崎さんから、「今夜はヒメノモチを使って鯛めしと赤飯でお祝いをする」と勝利を確信した電話が入っていました。このほかにも試合中にはいつでもつまめるようにと、もち米入りのおにぎりも用意され、選手たちには大好評だったそうです。





八十八歳を迎える皆さんへ、米寿のお祝いを藤原町長がお届けしました。下松本の大坊ちよのさんは、心身ともに健康そのもの、病院に通うこともないそうです。草取りを日課としており、家の周りは雑草がなく大変きれいになっていました。元気の秘訣は、あわてることなく自分にあつた生活を送ることで、食べ物好き嫌いもありません。終始笑顔でお話ししてくれました。今年には次の七十六人の皆さんが米寿を迎えました。

米寿をお迎えになつた七十六人の皆さん

水分			古館						日詰																
藤原	大坊	藤原	橘	阿部	小色	高畑	大信田	佐藤	水本	根子	小川	阿部	川村	上和野	藤尾	巻藤	涌澤	村谷	丹野	山崎	鈴木	中野	関	菅原	高橋
ハツエ	ちよの	五郎	長作	ユミ	隆太郎	フキ	庄次郎	ヨシ	タマ	太郎	ツル	徳治郎	迪雄	吉藏	ヤエ	信一	富美	ユウ	とみ	アサノ	キクエ	フサ	梅次郎	ツヨ	カナイ
赤石			志和										水分												
中里	川井	松岡	似里	内村	藤尾	片山	畠山	杉浦	漆澤	北條	澤田	新里	山下	高橋	佐々木	高橋	関口	俵	小網	藤原	佐藤	細川	鷹鷲	秋篠	
靖	ナホ	トキノ	ソノ	マサ	テツ	サメ	フチエ	タカ	コノ	善雄	カヨ	キクノ	タツ	弥助	アサノ	タネ	フデ	ソノエ	テツ	マツエ	よし	千代	ミヨ	カツ	
長岡			赤沢		佐比内				彦部			赤石													
阿部	阿部	藤原	藤沼	工藤	福士	中村	遠山	伊藤	福山	藤原	澤田	原	館藤	照井	太田代	大松	佐藤	佐藤	菊池	菅原	大沼	藤原	箱崎	中村	
精一	私命	秀子	サダヨ	善次郎	タカ	フユ	敬三	操子	キヤウ	サタ	清治	フジ	ヤス	卯太郎	重之	禮一	ヒサ	フサ	ハツ	鉄藏	サト	ハジメ	スゲノ	ツエ	

いつまでもお元気で
米寿のお祝い

9 / 1

日詰小のシャイニイメイツが
東北大会に出場

日詰小学校の吹奏楽シャイニイメイツは全日本吹奏楽コンクール県大会で金賞を獲得し九月に東北大会に出場します。運動会などではかわいらしいマーチングも披露してくれる子どもたちは、大会に向けて朝と放課後に一生懸命練習しています。大きな大会でもあまり緊張せず練習の成果を発揮してほしいものです。



地球に優しい ペレットストーブを 使ってみませんか

町では、森林資源循環の一環として、木質バイオマスエネルギーを活用したペレットストーブの普及促進を図るため、居宅や事務所などにペレットストーブを設置する場合の経費の一部助成をします。

ペレットストーブとは 製材工場などから発生する端材、樹皮など粉碎した物を円筒形に固めたペレットを燃料にするストーブをいい、補助の対象は国産の製品とします。

補助の対象となる人は 町内に住所がある人か本拠地を町内に置く法人など

補助の対象となる経費 ペレットストーブの購入および設置に要する経費

助成額 ストーブ1台につき1万円

問合せ・申込 農林課農林振興室

☎672-2111 内線3332 有線01-8822



県の補助 県でも、木質バイオエネルギーの活用を促進するため、一般家庭や事業所などにペレットストーブを設置する場合、経費の一部助成制度があります。

補助額は5万円を限度に経費の4分の1が助成されます。詳しくは、県庁産業振興課(☎629-5550)または盛岡地方振興局総務部地域振興課(☎629-6512)まで

農業用施設を親子で理解 山王海ダム周辺で 親子ふれあい研修

山王海土地改良区では、洪水防止や親水の場として、また昆虫や魚などの生息地としても機能する農業用施設を親子で理解していただく「親子ふれあい研修」を開催します。楽しい研修ですので、たくさんのご参加をお待ちしています。

開催日 10月16日(土) 午前10時～午後3時
雨天決行

場所 山王海土地改良区～用水管理センター研修～志和稲荷神社～山王海ダム～ウォーキング(ヤマメ・イワナの稚魚放流ほか)～山王海土地改良区(解散) 一部バスで移動します

参加費 無料(全員に昼食・おやつ・記念品を用意)

定員 親子50組100人(先着順)

持ち物 雨具、敷物など

問合せ・申込 10月8日(金)までに山王海土地改良区
☎673-7311へ



交通安全コンクール 「チャレンジ100・しわ」 参加者募集

職場やグループ5人1組で、100日間の安全運転を競い合う、毎年開催されているコンクールです。

期間 平成16年10月1日(金)～平成17年1月8日(土)までの100日間

参加料 1チーム5,000円(運転記録証明書交付手数料など)

申込 所定の用紙に必要事項を記入し、9月24日(金)までに参加料を添え総務課または交通安全協会へ

問合せ 消防安全室 ☎672-2111 内線3132

楽しみながらルールを再確認 高齢者の快適・ 安心交通安全競技大会

日時 9月27日(月) 午後1時30分～4時30分

場所 高文紫波自動車学校

参加チーム資格 普通免許証以上の免許所持者3人で1チームとします。メンバーは紫波警察署管内に住む65歳以上で編成されていること。ただし、70歳以上の者を1人以上(性別は問わず)含むものとします。

競技方法 自動車学校教習所コースを使用しての実技と交通安全に関する筆記試験

締切日 9月21日(火)

問合せ・申込 紫波警察署交通課 ☎671-0110
紫波交通安全協会 ☎676-3588

警察音楽隊の ダイナミック演奏会

県警察本部では現行警察法施行50周年記念として「第21回東北北部三県警察音楽隊演奏会」兼「第39回岩手県警察音楽隊定期演奏会」を開催します。

日時 10月30日(土) 午後2時～4時

場所 県民会館大ホール

入場料 無料(ただし9月下旬から紫波警察署や交番、駐在所などで発行される入場整理券が必要です)

内容 第1部 三県警察音楽隊の合同演奏 / 第2部 津軽三味線プロ奏者による三味線演奏とトーク / 第3部 ドリル演奏

問合せ 県警察本部県民課 岩手県警察音楽隊 ☎653-0110 内線2193

つらいリウマチの 講演会と相談会

(社)日本リウマチ友の会岩手支部では「第26回リウマチ療養医療講演会並びに相談会」を開催します。当日はリウマチについての理解を深めてもらうため写真展も開催しています。

日時 9月25日(土) 午後1時30分～4時

場所 ふれあいランド岩手 第1、2研修室

入場料 無料

内容 岩手医科大学整形外科吉田正明先生の講演「関節リウマチにおける新しい治療法」 / 体験発表 / 療養相談

問合せ (社)日本リウマチ友の会岩手支部 ☎0197-77-4092

林業技術センター を楽しく見学

県林業技術センターでは、取り組んでいる研究を紹介し、森林や林業に親んでいただくために「'04 もりの博士・おもしろ広場」を開催します。多くの見学・体験が用意されていますので、お誘い合わせの上ご来場ください。なお先着200人には記念品も差し上げます。

日時 10月9日(土) 午前10時～午後3時30分

場所 県林業技術センター(矢巾町煙山)

内容

もりの博士部門 ミニラボラトリー「見てさわって体験実験室」 / 野生きのこ教室(9月23日から要申込) / 人工ホダ場見学 / チップボイラー見学 / 技術相談パネル展示

おもしろ広場部門 ヤマブドウ収穫体験 / 森のロボット操作体験 / 簡易製材機「ロゴソール」による製材実演 / チェーンソーアート実演 / 親子木工教室 / 森のアート工作室ほか

問合せ 県林業技術センター企画指導部 ☎697-1536

発掘調査の見学と説明会

9月22日(水) 午後1時30分から紫波郷土史同好会主催の比爪館薬師神社周辺発掘調査の見学と説明会があります。(赤石公民館集合、参加自由)

問合せ ☎676-2669 内城さん

農作業事故にご注意を

事故防止のポイント例

- ① 農業機械の点検・整備の際には、必ずエンジンを停止する
- ② 家族がエンジンの停止法を覚えておく
- ③ 追突事故防止のため、暗くなくても自動車から見えやすいように夜光反射材を活用する

高額な不妊治療を バックアップします

県では、不妊治療を受ける夫婦に対し、治療費が高額になる特定不妊治療(体外受精と顕微受精)について、費用の一部を助成しています。所得や期間など詳しい規定がありますので、助成を受けたい人はお問い合わせください。

問合せ 盛岡保健所 ☎651-3111

再就職のための 看護力再開発講習

(社)岩手県看護協会では、免許を持っていても看護業務に就いていない人で再就職を考えている人を対象に「看護力再開発講習会」を行います。

期間 10月14日(木)～28日(木)の合わせて5日間

場所 県民会館(実習は県立中央病院、日赤、はーとぼーと雫石)

定員 30人(講習会は無料)

申込 必要事項をはがきに記入し、9月17日(金)までに「〒020-0117 盛岡市緑ヶ丘2-4-55

(社)岩手県看護協会 岩手県ナースセンター 看護力再開発講習会」に申込

問合せ (社)岩手県看護協会 ナースセンター ☎663-5206

コイの大量死、変死が
出たらご連絡を

コイヘルペス発生に ご注意

県内でコイヘルペスの発生が確認されています。コイだけに感染する病気ですが、発生拡大を防ぐため、コイの変死や異常を見つけた場合はお知らせください。

連絡先 農林課 ☎672-2111
内線3333



アルバムにはられたあの日の紫波町
スローな昔の生活をのぞき、
心をいやしてください。



土橋渡し場

江戸時代から続いた渡し船

東長岡天王と矢巾町土橋地区は、北上川をはさんだ交通の要所として、江戸時代から渡し舟が栄えていました。昭和十年代の最盛期には四隻が往来し、大きな舟になると木炭やまきの運搬をする馬そり四台と馬四頭、馬方八人を一度に運んでいたそうです。長徳橋開通を前にした平成三年晩秋、最後の一隻「長福丸」の運行をもって渡し場は閉鎖されました。写真は閉場を前に、昔の渡しの様子を再現したものです。(平成三年十一月撮影)

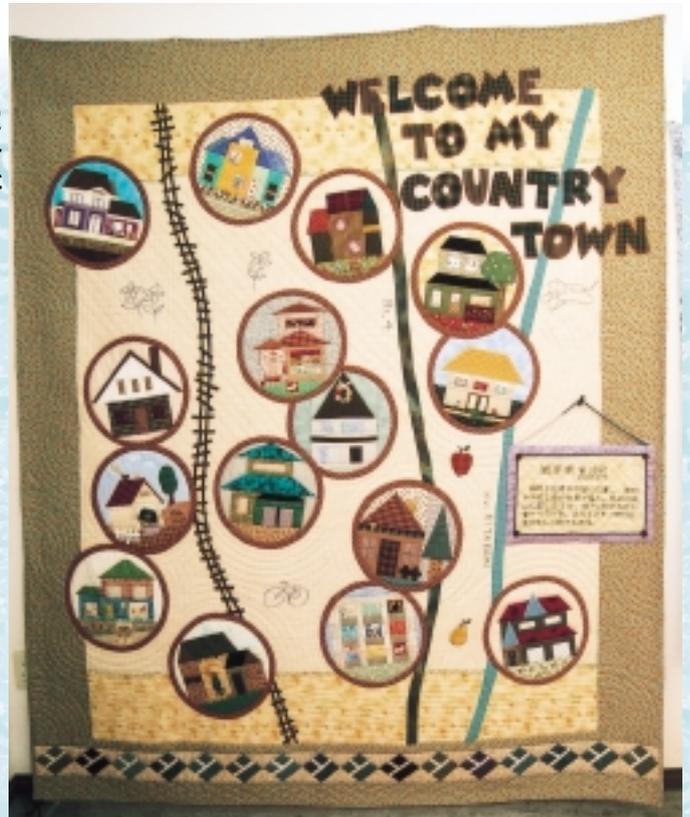
シリーズ 『あの日』の思い出に会いに

家族が作品を褒めてくれたことも励みになり、仲間と自己流ではじめたのが、今では日本手芸普及協会から講師・指導員の認定を受け、教室で30人ほどに教えています。今年3月には岩手キルト博に教室の作品を出展し、キャシー中島さんに「明るく楽しそう」と評価されました。教室の雰囲気そのまますべてに表れたようです。



今回の作品
タペストリー

作者
菅原八重子さん
(紫波中央駅前)



パッチワーク教室「ことことこっこん」(中島字前郷)
毎週火・水・木曜 午前10時~午後4時
教室には壁一面に作品が飾られています。興味のある人はどうぞ。
連絡先 ☎090-4040-5758 菅原さん